



トヨタ産業技術記念館

開館 20 周年特別展「トヨタの進化 喜一郎の夢、その後」

プロジェクトショノマッピング

未来へ続く夢

参加無料

12/6(土)・12/7(日)

[開始時間] 第1回 17:40~

第2回 18:10~

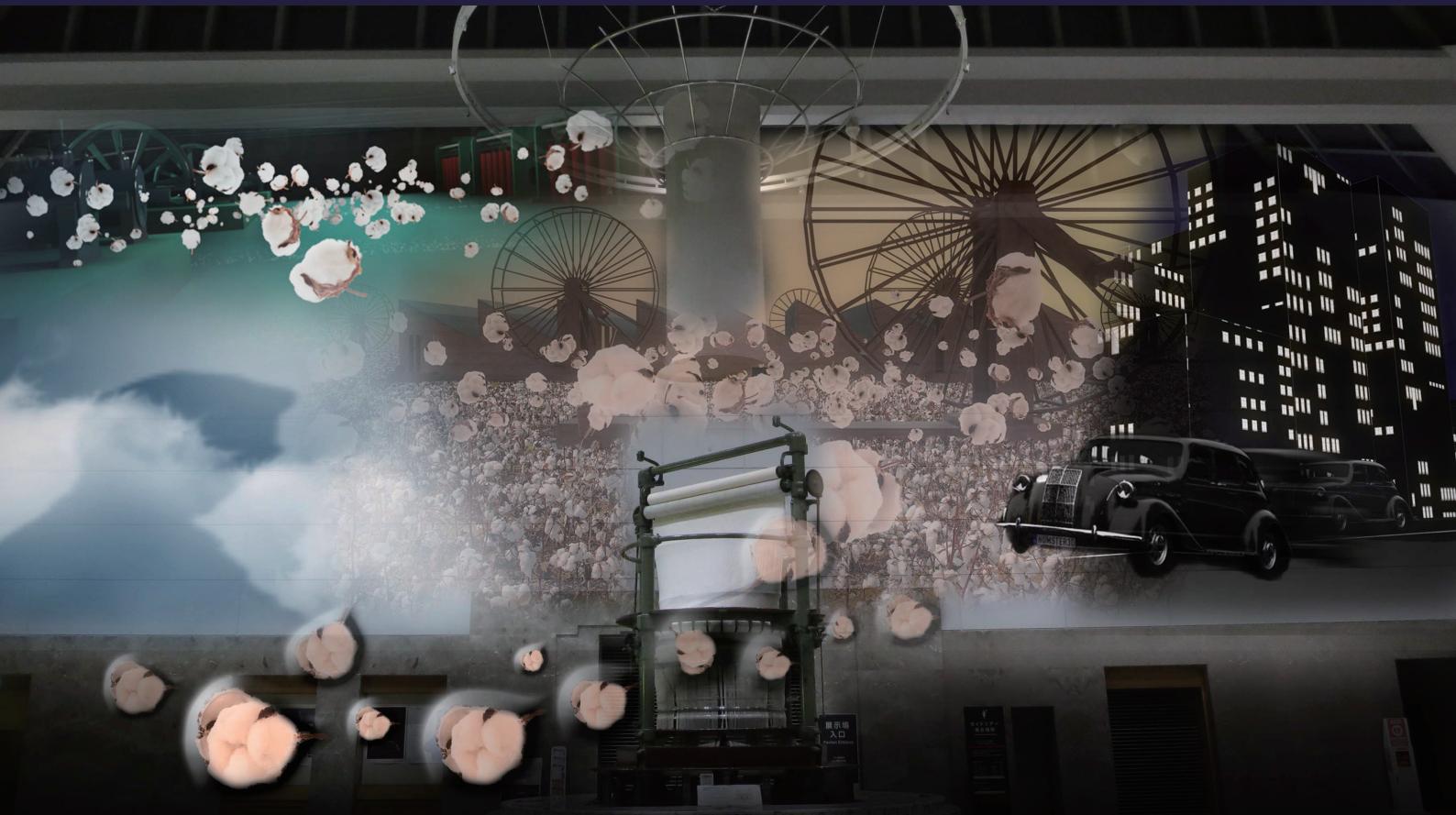
[会場] トヨタ産業技術記念館

エントランスロビー

[制作] 杉森順子

(メディアアーティスト・愛知工科大学准教授)

※応募方法は当館ホームページをご覧ください



※投影イメージ

プロジェクションマッピングとは

立体物をスクリーンとしてその形状にあわせ映像を制作し、プロジェクターで投影して効果的な映像表現を行う投影技法です。その魅力は、立体物と映像が融合することにより、現実とバーチャルが重なり合い、不思議で幻想的な空間や立体を体感できることです。

開館 20 周年 特別展

好評開催中

トヨタの進化

喜一郎の夢、その後

—トヨタグループ 17 社の技術展示—

2014/10/15(土)～12/14(日)

喜一郎さん
あなたの夢は
様々なカタチで育ちました。

プロジェクトマッピング 未来へ続く夢



制作者からのメッセージ

このたびはトヨタ産業技術記念館の開館 20 周年、誠におめでとうございます。

トヨタ自動車の創始者である豊田喜一郎氏は「国産の自動車を自分達の手で造り、世のために尽くす」という信念によりゼロからクルマづくりを始め、戦争や会社倒産の危機、労働争議、社長職辞任など数々の苦労を乗り越えながら日本の自動車産業の礎を築きました。57 年の生涯を掛けたモノづくりへの情熱と挑戦し続けるその姿に、深く心を打たれています。

プロジェクトマッピングの制作にあたり、喜一郎氏がどんな夢を描いたのだろうかとイメージを膨らませながら表現しました。映像はトヨタの原点である織機を象徴する綿花が空に舞い上がるところから始まります。そして自動車工場で機械のリズミカルな動きとともに氏の念願である車が作られます。やがて車は時代を掛けぬけ空へと走り出し、未来へと繋がっていく様子を表しています。同時に、綿花のように弱く小さなものが、やがて成長し大きく力強い機械へと発展していくモノづくりの魅力も表現しました。

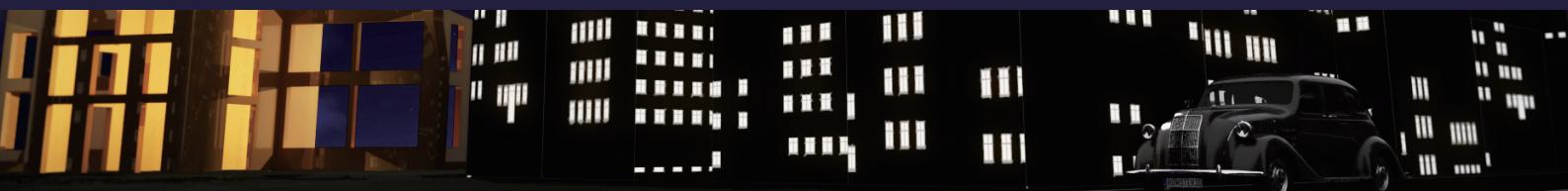
父佐吉氏が発明した環状織機が展示された空間のなかで、未来へと続く夢の世界をお楽しみ頂ければ幸いです。

杉森順子

プロフィール

杉森順子／メディアアーティスト・愛知工科大学 工学部情報メディア学科 准教授

静岡県生まれ。筑波大学芸術専門学群卒業。CG デザイナー、静岡放送報道部を経て番組制作会社ディレクター、プロデューサーとして数多くのテレビ番組や CG、博物館展示映像などの映像コンテンツを制作。2009 年に愛知工科大学に着任後は、10 年個展「LINK」展。11 年札幌ビエンナーレプロポーザル国際コンペティション入賞。12 年あいちトリエンナーレ地域展開事業「現代美術展 in とよはし」招待作品。13 年には蒲郡市生命の海科学館の企画展「SAISEI 再生・最盛・彩醒 融合するアート & テクノロジー」展が開催されるなど、マルチな映像表現者として活躍している。



トヨタ産業技術記念館

〒451-0051
名古屋市西区則武新町4丁目1番35号
TEL 052-551-6115
<http://www.tomit.org/>



- ご案内
- 開館時間／9:30～17:00（入場受付は16:30まで）
 - 休館日／月曜日（祝日の場合翌日）、
年末年始（12/29～1/3）
 - 入場料／大人500円・中高生300円・小学生200円
- ※団体割引あり ※学校行事での入場は半額、小学生・先生無料
※65歳以上の方は無料
※障がい者手帳をお持ちの方と同行の方1名は無料
- 交 通
- 名鉄「栄生駅」下車、徒歩3分
 - 地下鉄「亀島駅」下車、徒歩10分
 - 市バス／名古屋駅11番のりば「名古屋駅行（循環）」「産業技術記念館」下車、徒歩3分
 - なごや観光ルートバス「メーチル」／名古屋駅8番のりば「トヨタ産業技術記念館」（敷地内）下車すぐ
 - 無料駐車場：乗用車210台、大型バス10台

